

チャレンジ！前へ！Season2



前期が終了。新たな気持ちで後期へ！



前期が終わりました。100日弱の前期期間で子供たちはどのように変化したでしょうか。「たった100日でどう変わるのか」では、前進はありません。100日あれば何かしら変化があるはず。昔は「裁縫100日、雑巾100枚」と言われていたそうです。100回続けば何かしら得るものがあるということです。前期のうちに子供たちが変わるチャンスはたくさんありましたし、私たちは子供たちのチャンスの機会をたくさんつくってきました。大きな変化は誰でも分かります。ですが、私たちは子供たちの小さな変化にこそ敏感にならなければなりません。本校の先生方は、子供たちの小さな変化に喜び、声を掛け、励ましてきました。「できないことが少しでもできるようになった」その声を求めて支援や伴走を行うことが私たちの仕事です。1年間の授業日数は約200日。ちょうど半分が終了したということです。残り100日の中に、また子供たちの成長と変化を求めて寄り添っていきたいと思います。子供たちもチャレンジ、前へ！！

代表児童の発表

私が前期に頑張ったことは3つあります。1つ目は音楽で、鍵盤ハーモニカを吹くときに息を吹き込む強さを考えて演奏したことです。2つ目は体育の鬼ごっこで、追いかけてくる鬼をよく見て捕まらないように走り切りました。3つ目はスイミングスクールで、バタ足の際に膝を曲げないよう意識して練習しました。後期に頑張りたいことは国語です。漢字やひらがな、カタカナを綺麗に書く練習をして、いつでも綺麗な字が書けるようにしたいです。前期に頑張ったことを後期も続けながら、まだ習っていないことにもどんどん挑戦して、できることを増やしていきたいです。



前期はソーラン節の太鼓と習字を頑張りました。太鼓は先輩への憧れと最後の演目という思いから選考に挑み、家でも猛練習して選ばれたときは本当に嬉しかったです。当日は緊張しましたが一番の演技ができました。習字では姿勢や筆の持ち方に気を付け集中して書きましたが、夏休みの展覧会で入選できず悔しい思いをしたので、冬の展覧会へ向け練習を頑張りたいです。前期は人前に立ったり下級生のお手本となる行動ができました。後期も漢字や計算など様々なことに挑戦します。1・2年生のお手本になれるかっこいい3年生を目指し、クラスみんなで仲良く楽しく過ごしたいです。

前期に頑張ったことは陸上とワイワイフェアの準備です。800m走では練習のタイムを本番で45秒も縮めることができ、とても嬉しかったです。地区大会に向けてさらに練習に励みます。フェアではグループで話し合いながら商品管理の係を担当し、当日に向けて個数の確認などをしっかりと進めています。後期に頑張りたいことは駅伝です。初めての駅伝部ですが、選手に選ばれるよう練習を頑張っていきたいです。また、あと半年で6年生が卒業するため、在校生の代表として気持ちよく6年生を送り出せるよう、最高学年に向けた意識を持って過ごしていきたいと思います。



5年生児童の「前期終業式を迎えたので、前期の反省や後期の抱負を発表しませんか」コール！意見や考えを述べていました。



終業式の後に『ちょっと待ったコール』



いろいろあったね、前期。
後期もがんばっていこう！